

# 大野病院が新築移転

## 高度急性期医療の総合病院に

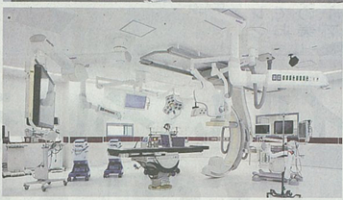
**西**区 地下鉄宮の沢駅から徒歩6分、札幌市生涯学習総合センターちえりあのかいに、北海道大野記念病院(宮の沢2の1)が開院しました。西区西野にあった心臓血管センター北海道大野病院が移転リニューアルし、がんや脳卒中、急性心疾患という三大疾病と運動器疾患を中心とした高度急性期医療に対応した総合病院に生まれ変わりました。(大倉玄嗣)

ダビンチ、サイバーナイフ…

## 最先端の機器導入

新病院は10月15日に開院。地上7階建て、延べ床面積は約2万6600平方メートル。病床数276床で、旧大野病院より119床増えました。手術室は8室。術中MR IやO-arm(オー・アイム)など手術中に画像を撮影できる最新高度医療機器を導入。エックス線撮影装置などを組み合わせたハイブリッド手術室、外科手術支援ロボット「ダビンチ」の最新機種を導入した手術室も整備しました。

放射線治療も道内最先端の設備に。「サイバーナイフ」「トモセラピー」という最新放射線治療装置を導入し、2018年夏には陽子線治療システムも稼働する予定です。大野記念病院によると、この三つの放射



宮の沢に移転し、高度急性期医療の総合病院となった北海道大野記念病院

ハイブリッド手術室  
— 病院提供



線治療装置がそろう施設は国内初となる見込みです。

旧大野病院は心臓・循環器で定評があり、道内全域から患者が集まっていた病院。北海道新聞社の雑誌「北海道の病院2016」によると、2015年の手術件数は、心臓弁膜症で道内1位(141件)、虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞など)で道内2位(70件)など高い実績がありました。

新しい病院の標榜診療科は、従来の心臓血管外科など9科に、新たに脳神経外科、整形外科、頭頸部外科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線治療科、病理診断科、リハビリテーション科を加え、21科となりました。また、最新型PET-CTを導入し、脳ドック、心臓ドック、がんドックなど、より精度の高い健診に力を入れています。

旧大野病院の運営法人が14年、釧路市の釧路孝仁会記念病院を運営する社会医療法人孝仁会と合併し、新病院の計画がスタート。大野記念病院は「各医療機関と連携して、このエリアの医療を充実させていきたい」としています。